



『もっと！！本野通信』

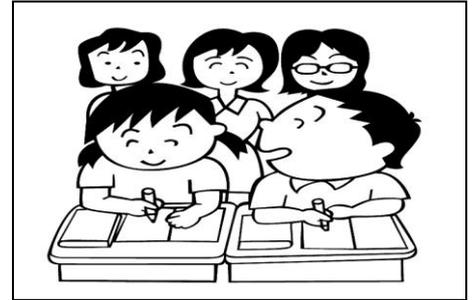
No.112

諫早市立本野小学校長 永井 洋

今年度最後の授業参観

18日は、今年度最後の授業参観でした。お忙しい中ご来校いただき、ありがとうございました。いかがだったでしょうか？

どの学年でも、1年間の学習の成果を発表したり、披露したりすることができていたと感じています。7年度も残り1か月あまりですが、各学年で、「次の学年への準備と今の学年のまとめ」を進めていきます。



家庭のルール、社会のルール（小言みたいですみません）

私が、自分の子どもたちによく話していたことの1つに、「家を出たら、家のルールではなく、その場その場のルールを必ず守りなさい」があります。これは、担任をしていた頃、受け持った子どもたちにも言っていました。

各家庭には、各家庭のルールがあるかと思います。それは、おそらく家庭の中で円滑に過ごすための申し合わせのようなものですね。例えば、「家には〇時までには帰る」「夕ご飯の時はテレビを消す」「お小遣いは〇円」「あなたのお手伝いは〇〇」とかで、よく「よそはよそ、うちのうち」と言われるようなことだろうと思います。子育ての方針もその中に入りますね。しかし、どうでしょう。それらは、基本的には、その家庭で効力を発揮するものです。家の外は、法やマナー、各場所でのきまりなど、家の中とは異なる社会のルールでいっぱいです。例えば、自分の都合で店の営業時間や、公共交通機関の時刻表は変えられません。どんなに急いでいたとしても、スピード違反は検挙の対象で、「急いでいたから」は通用しません。静かに過ごすべき場所で大声を出したり、走り回ったりはできません。

わたしは、警察官の方が、がんばって仕事をされている「〇〇警察24時」を視聴するのが好きですが、時々、警察官に「わたしだけではない」とか、「他の人も捕まえて」、「標識をもっとよく見えるようにして」など、果たして世の中のルールを知っているのだろうかと思われるような大人の方が出てきます。悔しい気持ちは分かるのですが、どのような躰や教育や受けてきたのか疑問になるのです。

学校の中でも、時々果たしていいのかな？というような言い訳や返答をする子がいます。そんな時は、しっかり言って聞かせるように全教職員で共通理解をしています。校則ではないのですが、小学校は集団生活を行い、社会性を身に付ける場所ですので、きまりが存在します。皆が気持ちよく過ごせるように、使っていない場所でも掃除をします。もちろん職員も同じです。放課後、学童やふれあい会館で遊ぶから、カードやシールをかばんの中にいれておく。勉強に関係ないものですから許されません。なくなっても責任がもてません。子どもたちがまず出会う社会は家庭です。その次が地域や学校などになります。そこそこのルールを守ることで、「社会のルールを守る」という心が育つのでしょうか。「大人になればわかる」ではなく「幼いころから導いていく」という気持ちが大切だと感じています。